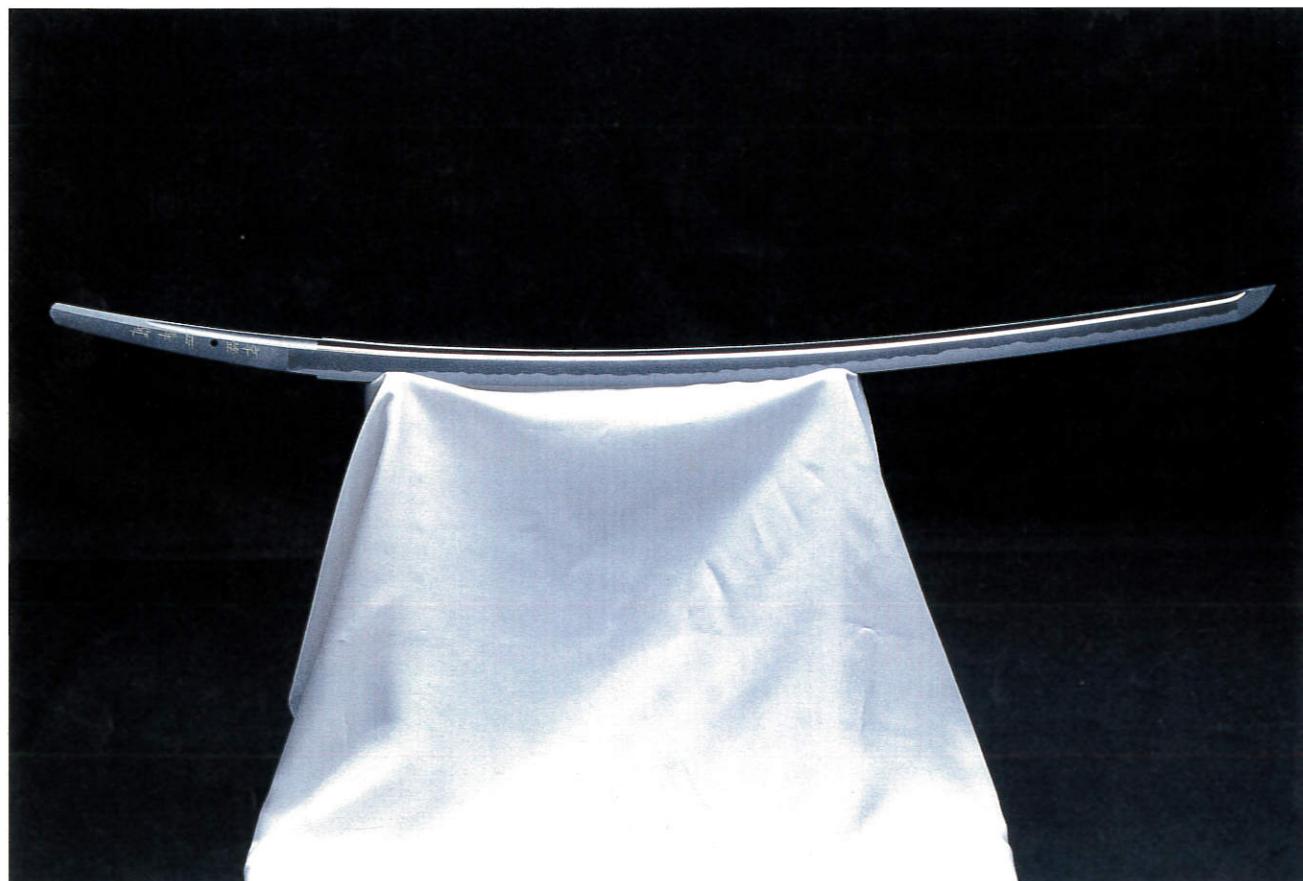


白山ミュージアム



隅谷正峯作 太刀（平成9年製作）

人間国宝 隅谷正峯の世界

旧松任市を拠点に活躍された人間国宝隅谷正峯刀匠がご逝去されて、今年で10年を迎えます。刀匠は古来の日本刀、特に備前伝に代表される華麗な刀紋や地金を生涯に渡って追求され、その成果は「隅谷丁子」と呼ばれる華麗な刀紋に集約されているといえます。

松任博物館は本年が開館して20周年目にあたることから、開館20周年特別展として人間国宝隅谷正峯刀匠の刀剣展を開催します。古来の日本刀が持つ美の再現をテーマに、刀匠の優れた作品の数々を展示いたします。

会期は平成20年7月12日（土）から8月31日（日）まで、入館料は大人500円、高校生200円、中学生以下は無料です。皆様お誘い合わせの上、ご来館ください。

contents

鶴来博物館	2	松任博物館	8
松任中川一政記念美術館	3	古道と峠の針葉樹	9
鳥越一向一揆歴史館	4	平成20年度行事予定	10
石川ルーツ交流館	5	ご寄付ありがとうございます	10
千代女の里俳句館	6	編集後記	10
松任ふるさと館	7		

古代からの営みを今に伝える

鶴来博物館

鶴来博物館

〒920-2111 石川県白山市鶴来朝日町81番地
TEL.076-273-1522
開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始



ノミタニ出土土器を熱心に見入っていました

期初頭の口能登の土器である氣屋式土器、関西地方の中津称名寺式土器など各地の交流を示す貴重な土器が多数出土してお

白山への道

白山縄文4000年前の交流

白山市吉野に所在する市指定史跡吉野ノミタニ遺跡は、

縄文時代中期後葉から後期初期の集落遺跡です。

この遺跡は、旧吉野谷村教育委員会によつて発掘調査が実施され、住居址から土器や石器など多数の遺物が出

土しました。この遺跡は、縄文時代中期の東海地方の土器である咲煙式土器、後

また、期間中の8月5日(日)には、高校教諭の米澤義光氏を講師に迎え、「吉野谷ノミタニ遺跡からみた縄文時代の交流」と題して講演会が行われ、市民や考古学ファンが発掘当時の様子や土器の解説に熱心に聞き入っていました。

(文責・山下)

平成19年度事業実績
●白山への道
平成19年4月7日(土)～5月6日(日)
●鶴来桜伝説展
平成19年7月21日(土)～9月2日(日)
●小川直子展
平成19年10月27日(土)～12月16日(日)

ります。

第3回目となる今

回の特別展では、環白山圏の交流を示す遺跡の遺物を展示し

ました。現在の国道157号線と158号線沿いには、縄文時代中期～後期の集落遺跡が多数存在しています。これらの遺跡からは縄文時代の交流を示す北陸地方や東海地方、関西地方、飛騨地方、信州地方の土器が出土しており、これらの資料展示することで、縄文時代より環白山圏は深いつながりがあつたことを紹介しました。



把手付壺(白山上野遺跡出土、県指定文化財)

「松任中川一政記念美術館」

踊家の第一人者、小島章司さ

んに踊っていただき、孫で女
優の中川安奈さんに随筆の朗
読をしていただきました。サ

ブタイトルの『白鳥が……』は、

隨筆「道芝の記」の中に、『新

しいフラメンコは白鳥が青空

を舞うような明るいラメンテ

ーションがある』より引用し

又、テーマを決めて展示して

います。

来館されたお客様の多くは、

「元気が出た」とおっしゃつ

て帰られます。それは中川一

政の根底にある『手応え』と

『感動』がきっと皆様にも伝

わるのだと思います。

これからも「生命力」溢れる

作品の数々を多面的にとらえ

て紹介していくかと思つて

います。

(文責・柏野)

当美術館は、昭和61年開館

以来、本年で22年目を迎えま

す。中川一政は、油絵の画家

です。しかし、油彩にとどま

らず、岩彩・挿画・書・篆刻・

陶芸・詩歌・エッセイ等を自

在に駆使し、広範多岐な才能

をいかんに發揮されました。

そして、その作品のどれもが、

既成の概念にはまることのな

い自由で奔放な精神が溢れて

います。画伯は「美しく整つ

て死んでいる画より、きたな

いが息をしていればよい。」『美

術』より『生術』

といった言葉を残

されていますが、

作品全てに力強さ

と躍动感が溢れてい

ます。現在、収

蔵している作品は、

油彩85点、岩彩21

点、書52点、陶器



開演挨拶の角白山市長



舞台の上の小島章司さんと中川安奈さん

平成19年度 事業実績

●出張美術館

～白山麓小・中学校

巡回展示～

平成19年5月8日（火）～6月19日（火）

●第13回花を描こう絵画展

平成19年8月12日（日）～19日（日）

●市民工房うるわし

平成19年9月16日（日）

●ミュージアム講演会

～小池邦夫 中川一政

～を語る～

平成19年9月16日（日）

●松任学習センター

～ライブシアター～

平成19年10月19日（金）

●道の駅 松任学習センター

～コンサートホール～

平成19年10月19日（金）

●ステージ美術館

～白鳥が青空を

～舞うように～

平成19年10月19日（金）

●道の駅 松任学習センター

～コンサートホール～

平成20年度特別展は「一政と茶

道具の世界」を開催しますので

ご期待下さい。

●会期

平成20年9月20日（土）

～11月16日（日）（予定）

加賀一向一揆の歴史を今に伝える

「鳥越一向一揆歴史館」

鳥越一向一揆歴史館の展示について

先日、平成二十年度予算を作成していく気づいたことで、鳥越一向一揆歴史館が、平成十三年四月十七日に開館

してから、もう七年が過ぎました。長いようで短い日々であります。旧鳥越村に所在する国指定史跡鳥越城跡附二曲城跡のガイダンス施設として建設された使命を考慮しますと、果たしてその使命を本当に担っているだろうか、日々展示内容が気にかかります。限られた条件の中で何ができるかが課題となります。昨年、関西方面の方で、一向一揆後の状況を話してくれた方がおられ、地域によつて大きく異なることを知ることができました。中世末期の歴史事実でありながら、近世にも大きな

影響をおよぼしたことが知られ、一向一揆もまだまだ未知なる課題の多いことが知られました。

平成十九年度は、四月十七日から七月一日までの期間で、「絵馬の世界—鳥越地区を中心として—」を開催し、鳥越地区の各集落神社にかけられている絵馬を展示しました。

神社にかけられていることから、あまり文化財として注目されていませんが、今後、保存・保護にむけて配慮されるのではないかと思います。

平成二十年度は、前年度の展示内容をふまえ、春季に、白山麓の工芸に関する展示をし、夏季に姉川合戦図屏風(パネル)福井県立博物館所蔵

県では、歴史的に、金沢城に先立ち鳥越城が存在していたことをふまえ、少しでも連携的に一向一揆の歴史が浮上することを願つての企画であります。金沢城の歴史的状況が明らかになれば、金沢御坊の状況も推測され、一向一揆の世界が明らかにならないかと思われます。

豊臣秀吉を中心として、一向一揆とのかかわりを見ていくたいと思つています。一向一揆に対する対応が、織田信長とどのように違うのか、何を継承し、何を新しく生み出したことか、戦国を生きた下克上の風雲児に問うて見たいと思つています。(文責・波佐谷)

柴田勝家像(『国史画帖大和版』所載パネル)
福井市立郷土歴史博物館所蔵



姉川合戦図屏風(パネル)福井県立博物館所蔵



柴田勝家像(『国史画帖大和版』所載パネル)
福井市立郷土歴史博物館所蔵

「石川県」のルーツを紹介しています

「石川ルート交流館」

べてボランティアで行っています
三月二十二日には今年度最後となる生田流箏曲第四十九回「春のつどい」が行われます。

音楽と出会つて

今回は、当館で行われてきたコンサートについて紹介させていただきます。当館には、常設の展示室の他にアトリウムと呼ばれている多目的な空間があります。館内で一番広く、これまでその場所で企画展を行つてきましたが、もつと有効活用出来ないかと考えていました。ちょうどその頃、前年に研修室で発表会をされた方からアトリウムをコンサートに使用できないかと言わられ、平成十八年四月二日に初めての箏笛コンサートを行いました。なにぶん音響も舞台設備も整つていない場所ゆえ、始まるまでは、無事に終わるかとハラハラしておりました。が、八木繁・粹音会の皆様のすばらしい演奏のお陰で、当日は用意した座席が足らず、立ち見のお客様がいらっしゃいました。

る程多くの方にご来館いたしました。演奏された皆様にも天井が高いため、音がよく響くと喜んでいただき、「今までコンサートに使用しなかつたのが不思議なくらい。来年もぜひこの場所で」とおっしゃっていました。その言葉通り、今年度第2回箏笛コンサートを開催。八木繁・粹音会の皆様による箏笛の演奏とともに打楽器、ギターでの合奏、声楽を交えた多様な曲目で前回以上の方にご来館いただきました。それからは、夏にグループ「ほつとらいん」による素朴な音色が楽しめる「ヨシ笛コンサート」、秋には李彩霞二胡教室の仲間たちによる異国情緒あふれる音色が響く「二胡コンサート」を行なうことが出来ました。いずれのコンサートも演奏は勿論、楽器や機材の準備、司会にいたるまで、す



第2回 箏笛コンサートの様子

く機会が出来、うれしく思つております。これからも皆様のお力添えをいただき、コンサートを開催していこうと思つております。ご興味のある方はぜひご連絡ください。
また、当館との共通券を発行している(財)呉竹文庫では、年四回の企画展と毎月第三日曜日に呈茶会を開催しております。

当館とあわせてご来館ください。
(文責・早松)

平成19年度 事業実績

箏笛コンサート

／＼八木繁・粹音会／＼

平成19年4月1日(日)

おかげり祭り展

／＼技の集結／＼

平成19年4月28日(土)

／＼5月27日(日)

平成19年6月16日(土)

／＼7月22日(日)

平成19年8月11日(土)

／＼8月27日(日)

平成19年9月15日(土)

／＼10月24日(水)

平成19年11月11日(日)

／＼11月17日(土)

平成19年11月20日(日)

二胡コンサート

／＼李彩霞二胡教室の仲間たち／＼

平成19年11月11日(日)

／＼1月20日(日)

平成19年11月17日(土)

／＼1月20日(日)

夏休み体験教室2回実施

俳句を通した市民交流の拠点

「千代女の里俳句館」

も達は俳句をつくりますが、教室の机の上で作るのは大変難しく、また、頭で考えても決してよい俳句は作れません。

白山市の俳句の伝統

加賀の千代女を生んだ白山市は伝統的に俳句が盛んで、多くの優れた俳人がおられます。

現在、市内の俳句団体は25団体を数え、隠れた俳句王国となっています。しかし、高齢化が進み、急いで継承を行わないで、この素晴らしい俳句文化も消滅しかねないのです。

平成18年10月開館した千代女の里俳句館では、子ども達を対象に、俳句との鮮やかな出会いをめざして様々な事業を試みました。

学校俳句

平成19年度、俳句館では、俳句教育の充実を図るため、各小中学校での「感性のびのびウイーク事業」とタイアップして、希望に応じて市内の俳人を講師として派遣し、俳句出前授業を行いま

出前授業の内容

実施したのは、鳥越小学校・河内小学校・湊小学校・蕪城小学校・鳥越中学校です。

まず、教室で俳人の先生に俳句や季語について簡単な説明がありました。その後、子ども達に切った色画用紙に句を書き入れます。このとき、俳人の先生方は、ひとりひとりに季語や言葉の使い方を指導しました。そして、名前を裏に書いて、短冊を集め、黒板に貼りました。

まず、子ども達が自分が一番いいと思う俳句を選び、ついで俳人の先生が句を選びました。そして最後に作者を明かします。俳句の不思議なおもしろさを感じた子ども達も多かったと思います。

俳句遠足

東明小学校、明光小学校・野々市町立御園小学校・小松

河内小学校での披露



この他の俳句の取り組み

俳句館では、少年少女俳句塾を開催している他、学校俳句ポストの投句も集めています。また、第35回千代女全国少年少女俳句大会は、7592句を集め、全国から高水準の俳句が投稿されています。

(文責・金山)

蕪城小学校での校内吟行



千代女の里 俳句館

〒924-0885 石川県白山市殿町57番地1
TEL.076-276-0819
開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

松任ふるさと館の魅力

「松任ふるさと館」

「ふるさと館」として開館し、市民に公開しています。
(国の登録有形文化財)



■庭園「紫雲園」

作庭は、大正元年にはじまり、庭師が12年間毎日通い完成させたものです。

また、庭園「紫雲園」の名称は、公募により決定されました。その由来は、庭園内に設置されています、太閤秀吉が所有した7名石の一つ「紫雲石」に因み名付けられました。

「ふるさと館」は明治・大正・昭和初期に金融・米穀・倉庫業等で活躍した、吉田茂平(よしだもへい)氏の私邸で、安吉町にあつたものを、大正元年に交通の要衝である現在のJR松任駅前に移築したもので、今は母屋と庭園部分が残っています。

土地面積 約3,717m²



■館内利用について

庭園「紫雲園」を、座敷の景色として一体的に鑑賞できるこの施設は貸館できます。

現在、定期的に合唱団、茶道、水彩画、絵手紙等の利用があります。また、ギャラリーとしての利用も多々あります。

(文責・林)



○開催回数

年3回(夏・秋・冬)

平成18年10月1日「千代女の里俳句館」オープンを期に、2館の利用を促進するため夜の句会・茶会等を催し、より多くの方々に、駅前文化ゾーンを周知する事を目的としライトアップを開催しています。

■庭園ライトアップ

白山市の歴史と文化を紹介しています

「松任博物館」



を受けたのは一代の名誉だと自らの筆記録に述べています。

昭和14年京都にて逝去されました。(享年72歳)

梶野玄山展

梶野玄山は、明治元年に梶野喜八の長男として松任町(現白山市西新町)の祖父の代から染物業の家に生まれました。本名は定吉、玄山を号し、書室を仙雲閣・眞娛書房と称しました。

幼い頃から祖父に絵を習い、

松任小紋の型地屋に入り、同じ絵描き仲間の阿閉雲涯(郷土の画家)らと小紋染の模様を描いていました。その後、飛驒高山から金沢に来ていた四条派の垣内右隣に入師し本格的に画業の修得を始め、明治31年には京都に赴き鈴木松年の門に入りました。真宗京都中学絵画科で教鞭をとるかたわら、全国絵画共進会展等で受賞を重ね画家としてゆるぎない地位を築きます。

玄山は、円山四条派の伝統的写生を基本に、中国北宗画と狩野派の細密画法など幅広い筆法を駆使して、彩色豊かな独自の画風を開き、多くの優れた作品を残しています。

特に孔雀画、青緑山水画、人物画を得意とし、孔雀画は生涯の間に100点を越えるといわれています。

明治44年、久邇宮殿下に献上画を描いて以来多くの皇族から御下命を受け、献上した孔雀図及び青緑山水図は30点に達しています。

なかでも大正8年に久邇宮家より良子女王と

皇太子(昭和天皇)のご成婚に際し、その調度品として、「玉堂富貴

孔雀ノ図」「不老长春孔雀ノ図」二幅の御下名



老松孔雀画(市指定文化財)等、孔雀画4点を展示しました

●平成19年度事業実績
●ペンリス市文化交流企画展
～セントメリーズのトランクスース～

平成19年3月27日(火)
～4月15日(日)

梶野玄山展
～玄山の織りなす花鳥風月の世界～

平成19年4月28日(土)
～6月10日(日)

(文責・茗荷谷)

夏休み子どもわくわく博物館

平成19年7月15日(日)
～9月2日(日)

紙のあるくらし

～白山・加賀の和紙～

平成20年2月9日(土)
～3月16日(日)

鉄道の広場

毎月第3日曜日(家庭の日)

夏休み子ども博物館
(体験教室)

教室計4回実施

古文書講座
5回実施

●平成19年度事業実績

古道と峠の針葉樹

場)を求
めて急速
に衣食住
の環境が

白山市を含む3県6市1村で「靈峰白山と山麓の文化的景観」の世界遺産の文化遺産登録を目指して事務作業を進めています。白山の提案は、国史跡および重文17件、県指定史跡・文化財が13件、市指定が2件、伝統的建造物群および文化的景観候補が各5件文化財指定候補が8件(平成20年3月末時点)です(詳しくは白山市のホームページで紹介しています)。世界遺産の文化財の基準はその国の国内法ですので、事務作業は新たに文化財的な価値がある物件について調査を実施し、文化財指定候補として文化財保護審議会に提案することが主な作業としてあげられます。

昭和30年代の高度成長期以前まで白山麓では、養蚕業がさかんで焼畑耕作を中心とした出来りの景観や山村の集落景観が保たれていました。自動車が一家に一台の時代になると人々は都市部など山ではないところに生業の場(就業の歩荷)と呼ばれた人々がい

くは白山市のホームペー^ジで「靈峰白山と山麓の文化的景観」の世界遺産の文化遺産登録を目指して事務作業を進めています。白山の提案は、国史跡および重文17件、県指

定史跡・文化財が13件、市指定が2件、伝統的建造物群および文化的景観候補が各5件文化財指定候補が8件(平成20年3月末時点)です(詳しくは白山市のホームページで紹介しています)。世界遺産の文化財の基準はその国の国内法ですので、事務作業は新たに文化財的な価値がある物件について調査を実施し、文化

財保護審議会に提案することが主な作業としてあげられます。

昭和30年代の高度成長期以前まで白山麓では、養蚕業がさかんで焼畑耕作を中心とした出来りの景観や山村の集落景観が保たれていました。自動車が一家に一台の時代になると人々は都市部など山ではないところに生業の場(就業の歩荷)と呼ばれた人々がい

くは白山市のホームページで紹介しています)。世界遺産の文化財の基準はその国の国内法ですので、事務作業は新たに文化財的な価値がある物件について調査を実施し、文化

財保護審議会に提案することが主な作業としてあげられます。



金子有斐『白山遊覧図記』(1829年)の日神宮
(檜新宮) 檜の周りに社祠が建つ

(加賀禅定道)



現在の檜新宮

5/7(水)振替休館
5/5は開館

休館日 月曜日

5/5(水)振替休館
5/7(水)休館日

世界遺産への取り組みについてパネルにより展示します。

「めざそう世界遺産! 瞬峰白山と山麓の文化的景観」展
期間 平成20年4月29日(祝)
～6月1日(日)

檜宿の檜(越前禅定道六万山のあたり)江戸時代中期に書かれている。「平泉寺白山絵図」(平泉寺白山神社蔵)に描かれている。越前禅定道第十宿



平成20年度行事予定

事業計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
鶴来博物館		めざそう世界遺産速報展 4/29(火)~6/1(日)										
	鶴来に咲く桜の写真/ パネルコーナー		燻蒸作業				白山への道 (化石展)					
	4/20(日)まで											
中川一政 記念美術館	常設 展示	出張美術館	花を描こう 絵画展	常設展示	特別展 会期中 講演会9/27(土)・茶会10/19(日)			常設展示				
					9/20(土)~11/16(日)							
鳥越一向一揆 歴史館		白山麓の工芸	北陸の中・ 近世城郭		一向一揆と豊臣秀吉			常設展示 北陸の一向一揆				
石川ルーツ 交流館	4/6(日)				女の手取川に 描かれた美川町展							
	篠笛コンサート 発明家 広瀬興吉展											
	4/26(土)~5/25(日)											
千代女の里 俳句館	市内の 俳句展	市内の 俳句展	西のぼる画業 30周年特別展	写真と俳句展	加藤秋邨 写真展	松任俳句 協会会員展	白山市・信濃町 ふるさと交流展	子ども達 の俳句展				
松任 ふるさと館												
			庭園ライトアップ (七夕夜灯・月見夜灯・雪見夜灯)									
松任博物館	4/26(土)~5/11(日)		7/12(土)~8/31(日)									
	わくわく子ども 博物館		特別展 隅谷正峯刀剣展		燻蒸作業			わたしの 宝物展				
	5/5(月)、6(火)電車運行 5/18(日)、5/25(日)拓本教室				古文書初級教室(3回) 古文書中級教室(3回)							

※詳細については各館までお問い合わせください

ご寄付ありがとうございます 平成19年関係

千代女の里 俳句館

- 千代尼書「月影も」の句豎幅……………金沢市 藤溪 了天様
- 千代尼書「名月や」の句色紙豎幅一幅 奈良市 伊熊 健之様

松任博物館

- 屏風・掛軸類 計27点……………八ツ矢町 北野 博様



花…あさがお

木…ぶ な

鳥…うぐいす

(平成19年11月3日制定)

編 集 後 記

～ある日の出来事～

保育園の子供達が遠足で立寄った。初めての博物館。子ども達にいいイメージを伝えなくては……っと準備をしていたが、なんと子どもたちは先生の誘導に従って自然に展示物を楽しんでいた。自分たちが生まれる前の農具を不思議なほどに目を輝せながら見ていた。

後で先生から『あの子達保育園で昔の農具の体験をしたので。』っと聞いて納得。

数時間の出来事であるが、無垢の彼らの中にそれぞれのパステルカラーを感じとり、新しい分野が芽吹いたのではないだろうか。(u)